

第2回にんじん学習会を開催！

～若手生産者が出荷実績や現地試験の結果を共有し、経営改善を進めています～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和5年8月28日発

船橋市は春夏にんじんの産地ですが、都市化等による収穫量の減少や難防除病害虫への対策が課題となっています。そこで、農業事務所では、経営改善に資することを目的に、若手生産者を対象とした「第2回にんじん学習会」を開催しました。当日は、若手生産者9名、関係機関5名が参加し、今年度実施した無マルチ栽培や品種比較試験の結果を共有し、今年度の実績について情報交換を行いました。

生産者からは、「自分で使ったことのない品種について聞いてよかった」、「無マルチ栽培を試したい」、「今後もこのような情報交換の場があると良い」等の感想が寄せられ、次年度の品種や栽培方法を見直すきっかけとなりました。学習会の終了後には生産者発案による効率的な作業機の実演紹介が行われ、さらに作業についての意見交換がなされました。

農業事務所では、今後も若手生産者の交流を促し、経営改善を支援していきます。



学習会で情報交換



作業機の実演